株主各位

2025年6月18日
東リ株式会社

第161回定時株主総会　事前質問へのご回答

平素より株主の皆様におかれましては、格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

2025年6月18日(水)の第161回定時株主総会の開催にあたり、事前に当社ホームページにいただいたご質問に対して、以下の通りご回答申し上げます。

Q.これからのIR活動についてどの様にお考えでしょうか？
また、個人株主にむけた工場見学やイベント等の実施予定はないのでしょうか。

A.ご回答

当社における IR 活動は、適時情報開示や皆様にご理解を深めて頂くための情報発信はもとより、ステークホルダーである皆さま方との信頼関係の構築、及び経営品質向上の観点で重要な課題と認識しております。

現在、年数回の個人投資家様向け会社説明会の実施や統合報告書による情報発信、並びにホームページ等を通じた個人投資家様との対話などにも取り組んでおります。頂戴したご意見をもとに、様々な他社様の事例等も参考にした上で、より一層のIR活動に取り組んでまいります。

Q.決算発表等の開示を場中に発表する意図を教えてください。

A.ご回答

決算発表を始めとする情報開示のタイミングについては、金融審議会の提言や東京証券取引所の要請を踏まえ、社内手続きなどを完了したタイミングで速やかに情報開示を行うという方針としております。引き続き、速やかな情報発信に努めてまいります。

Q.株主に対する株主優待を新設する予定はないでしょうか。

A.ご回答

株主還元につきましては、株主公平性の観点より配当金に重点を置いた還元方針としており、現在株主優待は導入しておりません。引き続き、株主還元につきましては、様々な制度を総合的に検討した上で、投資環境の変化に応じた最適な株主還元を実施すべく、留意してまいります。

Q.PBR(株価純資産倍率)が1.0倍を大きく割れており、経営陣が株価を意識していないように感じています。

A.ご回答

PBR(株価純資産倍率)について、PBRは改善傾向にありますが、1.0倍に達していないことは、重要な経営課題と認識しております。さらなる改善にむけては、資本コストを上回る業績の継続的向上と共に、中長期的視点での事業成長性や株主還元策を明示し、IR活動などを通じて投資家様への情報提供に努めていかなければならないと考えております。

PBRの構成要素のひとつであるROE(自己資本利益率)につきましては、2026年3月期よりスタートしました中期経営計画「SHINKA Plus ONE 2.0」において、株主資本コスト(自社算定値)を上回るROE8.0%以上の達成を掲げ、経営効率の向上を目指してまいります。

また、「SHINKA Plus ONE 2.0」における成長戦略の推進と新たな株主還元方針に基づく株主の皆さまへの還元の充実、並びに当社の事業活動へのご理解を深めて頂くためのIR活動により一層取組み、株価向上策を強化してまいります。

以上